

福岡県 地方行政独立法人 福岡市立病院機構 福岡市立こども病院 様

導入システム PHS患者呼出システム (HIS連携)

電子カルテ : 東芝メディカル 様



Introduction

昭和55(1980)年9月に「福岡市立こども病院・感染症センター」として開院され、当初より、西日本で唯一の小児総合医療施設として、とくに新生児医療、先天性心臓病を主体とする循環器医療等の領域で実績を重ね、一定の評価と信頼が得られております。

開院後30年以上が経過して、建物自体が古くもなり狭くもなって、日進月歩の医療に対応することが難しくなっており、平成24年12月、福岡市東区香椎照葉の地に新病院の建設が始まり、平成26年8月に竣工、同年11月1日に移転、開院されました。

Solution

こども病院という専門の病院であることから新病院移転にあたり、患者様の待ち時間の対策手段として、本システムを採用されました。

自動発行はせず各ブロック受付にてすべての患者様に患者呼出専用のPHS端末を手渡して発行し、電子カルテ及びRISシステムと連携して自動呼出を行っております。

また自動呼出とは別に各ブロック受付から特定の患者様に対して手動呼出も行えるようになっております。



イメージカラーで特製の呼出カードケース



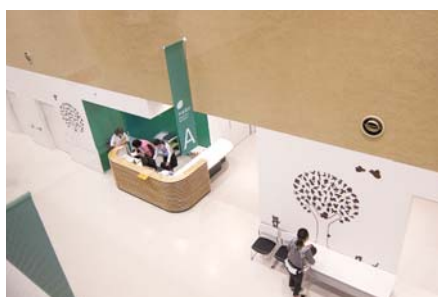
各ブロックカウンターに配置の呼出カード



事務部門に設置の充電ラック



広々とした森林イメージの待合ホール



2Fからみた1Fブロック受付



お子さんたちがなごむ外来アート